

第3回日本地震工学会「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する
委員会 議事録

日時：2014年10月14日（火）10:00-12:00

場所：工学院大学新宿キャンパス 24階 共同セミナー室3

出席者（敬称略）：安田会長，久田委員長，大井，加藤，小林，松田，村上，庄司（文責）

オブザーバー：石川（久田研），市川（久田研）

配布資料

- ・第3回 議事次第
- ・第2回 議事録（案）
- ・委員名簿
- ・科学技術振興機構 SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」の概要
- ・巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発（久田）
- ・防災科学技術研究所 最新成果事例集 2014（大井）
- ・新宿駅周辺地域におけるエリア防災の取り組み（村上）
- ・新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画（村上）

議事

1. 前回の議事録確認
2. 委員の確認
3. 報告

- ・久田委員長より，日本地震工学シンポジウムの日程（12月5日金曜日の午前9時から終日）とプログラムについて報告が行われた。
- ・SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）に応募した研究課題「巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発」（研究責任者：久田委員長）が採択された。他に採択された研究課題の研究責任者及び概要を確認した上で，久田委員長より本課題に係わる 1) 背景，2) テストフィールド，3) 目的，4) 対応支援アプリケーションの開発，5) 研究の進め方等について説明が行われた。主な意見は以下の通り。
 - 本研究課題の推進に当たっては特色が必要であり，「巨大都市・大規模ターミナル駅～」を特色として新宿，北千住を対象に検討を進める予定。
 - 対応，予測，予防の3つの枠組み・テーマについて実施予定。
 - SIP①～⑥の情報を受けて市民に情報を提供する。

- 小林委員及び安田会長より、他グループの研究動向、北千住駅協議会・足立区・消防等との連携状況、及び、中央卸売市場を基点とした物流等について言及があった。なお、他グループの中で大佛先生のグループでは首都直下地震の際の足立区・北千住地域の避難について研究されているようであり、今後、連携していく可能性はある。

4. 研究活動紹介

- ・ 大井委員より防災科学技術研究所の「最新成果事例集」に基づいた話題提供があった。強震観測網や緊急地震速報の現況、スマートフォンを通じた強震情報の提供、スロー地震の現象解明、火山活動の観測、ゲリラ豪雨のレーダー観測、大型降雨実験施設による土砂災害再現、雪氷災害に係わる研究、Eディフェンスによる震動実験、J-SHIS や e コミ等の社会防災システム研究について、それぞれ紹介された。また、SIP の採択課題「津波被害軽減のための基盤的研究」、「府省庁連携防災情報共有システムとその利活用技術の研究開発」、及び、「リアルタイム被害想定・災害情報収集・分析・利活用システム開発」の紹介が行われた。主な意見は以下の通り。
 - 地震観測設備の維持費や人手不足等が課題になっている。
 - 来年度から独立行政法人は国立研究開発法人へ移行する。これに伴い、イノベーションハブ（防災科研は気象災害イノベーションハブ）を指向している。
 - 気象業務法との関係で、災害情報の他機関への提供、連携がなかなか進まない状況にある。
 - SIP では、医療分野とため池分野について関係機関からの協力が得られている。
 - SIP における府省庁連携災害情報共有システムについては、防災科研が担当している。
 - 内閣府の防災情報システムや国交省の電子防災情報システムは、GIS のソフトウェアとして ArcGIS を使用しているので、共通のテンプレートで情報共有が可能と思われる。
 - 都市ガスの被害推計には経産省との連携が必要ではないか。省庁との連携は今後の課題。
 - 東京都の水害や津波災害については、SIP の各システムとのインタフェース構築に経費を含めて課題が残されている。
- ・ 村上委員より「新宿駅周辺地域におけるエリア防災の取り組み」に関する話題提供があった。エリア防災の背景と課題、新宿駅周辺防災対策協議会の立ち上げ、東日本大震災の教訓とそれを受けた「新宿モデル」の構築、セミナーの実践事例、情報連絡・共有／避難・退避誘導情報の提供／医療・応急救護所／高層ビルの継続使用判定のしくみづくり、都市再生安全確保計画の策定状況等について説明が行われた。工学院大学を基点とした事業者や区との連携の方策、及び、想定地震とその変化に伴う被害状況の違い（SIP との差別化）等について討議が行われた。主な意見は以下の通り。
 - 30 万人の人間をビル外に出して大丈夫か？
 - 「エリア防災」の考え方

- 都市再生安全確保計画の策定については、西口は終了しており、東口が本年策定予定.
- 当初は大学と区が中心で推進してきた.
- 新宿は都市再生法の枠組みであるが、北千住はエリア防災の枠組みを適用するのがよいのではないか.

5. その他

- ・次回：以下の候補日より日程調整することとなった.

第1候補 12月24日（水曜日） 午後1番あるいは午後2番
於 東京電機大学

第2候補 12月15日（月曜日） 10-12時 於 東京電機大学

第3候補 12月8日（月曜日） 10-12時 於 東京電機大学

第4候補 12月22日（月曜日） 10-12時 於 東京電機大学

話題提供の予定：猪俣委員，末松委員，佐藤委員あるいは中村委員，古屋委員